

ときを越え
受け継がれるもの

戸隠神社のスギ

Ⅱ 江刺区伊手字小中田 Ⅱ

江刺南中学校から国道397号を挟んで南東に約2^{キロ}、戸隠山の山頂に戸隠神社のスギはある。

戸隠神社は、坂上田村麻呂が蝦夷平定の際に鎮護神として勧請。その後、源頼義、義家親子が前九年、後三年の両役に際し、戦勝を祈願したと伝えられている。また、本社は長野県長野市の戸隠神社であり、胆沢城築城のため集められた浪人のうち信濃（長野県）出身の人たちが、故郷の戸隠神を勧請したとする説もある。社殿の横に立つスギは、樹高約35^{メートル}、幹周囲6・23^{メートル}と県下でも有数の巨樹で、その姿は戸隠山の麓からも確認することができる。地域のシンボルであり、旧伊手村の村社である戸隠神社の御神木として信仰の対象にもなっていることから、平成26年、市の天然記念物に指定された。春光を浴びた枝葉の陰影でより荘厳さを増す戸隠神社のスギ。力強く天を突くその姿は、見る者の心に力を与える。



1 伝承によるとスギの樹齢は700年。その大きさは群を抜いている **2** 385段の石段が続く表参道。上り下りが大変な人のために境内付近まで車で通行できる裏参道もある **3** 戸隠神社の社殿。開運や五穀豊穡、虫歯の神様として信仰され、縁日（例大祭・4月23日、秋祭り・9月23日）のほか6月4日に虫歯平癒祈願祭が行われる



広告